

Arts Towada 十周年記念「インター + プレイ」展 第2期 出展作家決定！

第2期会期：2021年9月18日(土) - 2022年1月10日(月・祝) 十和田市現代美術館



Aerocene Tata Inti performance, 2017, In Salinas Grandes, Jujuy, Argentina on Aug. 7, 2017
With Josquin Ecurra and Tomás Saraceno, and the support of CCK Buenos Aires.
Courtesy the Aerocene Foundation and CCK Agency
Photography Studio Tomás Saraceno, 2017, Licensed under CC BY-SA 4.0 by Aerocene Foundation

第2期は、十和田市現代美術館常設作家であり

世界各地で大規模インスタレーションを展開するトマス・サラセーノが作品を展示

Arts Towada 十周年を記念した一年間の展覧会「インター + プレイ」展の第2期 [2020年9月18日(土) - 2021年1月10日(月)] では、十和田市現代美術館常設展示作家の一人であるトマス・サラセーノの作品を、企画展示室すべてを使用し展示します。

本展は、サラセーノが強く関心を持つ自然環境を出発点とし、十和田市現代美術館をとりまく外部と内部の環境や、私たち人類と他の生命や有機物との間に生まれる相互作用的な関係に焦点を当てます。

十和田市現代美術館 常設作品《オン・クラウドズ (エア-ポート-シティ)》

透明なビニールでできたバルーンは、壁・床・天井から張られたワイヤーで展示室に固定され、宙に浮いた状態で展示されています。観客は、はしごを使ってバルーンの中に入り、まるで雲の上にいるような感覚や異次元を漂うかのような感覚を味わうでしょう。トマス・サラセーノの作品は、空気・水・光・熱といった不定形の素材と幾何学的構造を使って形を導き出し、身近にありながら実感しづらい物質の軽さや透明感など鑑賞者に体験するよう促します。

Tomás SARACENO *On Clouds (Air-Port-City)*
Photo: OYAMADA Kuniya



トマス・サラセーノ Tomás Saraceno

1973年トゥクマン(アルゼンチン)生まれ。ベルリン在住。芸術、生命科学、社会科学など様々な分野に基づき制作を行う。宙に浮く彫刻やコミュニティプロジェクト、鑑賞者が内部で過ごすことができるインスタレーションを通じて、持続可能な新しい生き方や、自然環境への向き合い方を鑑賞者に問いかける。サラセーノは、多分野を横断する芸術コミュニティ Aerocene の活動の一環として、環境を損なうことなく空気を利用した作品《Museo Aero Solar》や、燃料を使わない気球での飛行プロジェクト《Fly with Aerocene Pacha》などを展開している。また、蜘蛛の巣への関心から制作したウェブ上のプラットフォーム Arachnophilia.net や Arachnomancy App で、《Mapping Against Extinction》プロジェクトの活動も行っている。近年の展覧会に、「Aria」(ストロツツイ宮、フィレンツェ、イタリア、2020)、第58回ヴェネチア・ビエンナーレ(イタリア、2019)、「ON AIR」(パレ・ド・トーキョー、パリ、フランス、2018)がある。

Tomás SARACENO
© Alfred Weidinger, 2015



- 展覧会名： Arts Towada 十周年記念「インター + プレイ」展 第2期
- 会 期： 2021年9月18日(土) - 2022年1月10日(月・祝) / 第3期：2022年1月22日(土) - 2022年5月29日(日)
- 開館時間： 9:00 - 17:00 (入場は閉館の30分前まで)
- 休 館 日： 月曜日 (祝日の場合はその翌日)
- 観 覧 料： 企画展+常設展セット券1200円。企画展の個別料金は一般800円。団体(20名以上)100円引き。高校生以下無料。
- 主 催： 十和田市現代美術館
- 後 援： 東奥日報社、デーリー東北新聞社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、十和田市教育委員会

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷(おおたに)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com